

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

電話 048-585-0605

FAX 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL <http://www.san-ai-jidouyougo.net>

社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい

第125号 2019年 1月 1日

三愛学園 広報タスク



問題の外在化

さんあい 施設長 高瀬一使徒



問題の外在化とは、問題を当事者とは切り離し、その問題を擬人化することにより、当事者の苦しみを和らげ、問題の解決に導く手法です。さんあいには反応性愛着障害が主な原因と思われる癪癩持ちの子どもたちがいます。その子たちは、ほんの些細なことで癪癩をおこしますが、そんな時に職員は、その子の癪癩を「プンプン虫」と言って外在化し、「〇〇ちゃん、プンプン虫が暴れちゃったね！」と言って、問題をその子に負わせないで、客観的に捉えるようにしています。この方法を続けると職員も感情的に子どもを叱ったりせずに冷静に対応できるようになり、子ども自身も問題を客観視できるようになってゆき、癪癩が収まった後には、「プンプン虫が来たんだよ。」などと言うようになります。

子どもたちがほんの些細なことで癪癩をおこしたりキレたり激昂することを「対応困難児童」として、問題を本人たちの責任に帰すことは間違っています。多くの困難を乗り越えて施設までたどり着いた子どもたちです。心の傷や渴きあっても不思議ではありません。

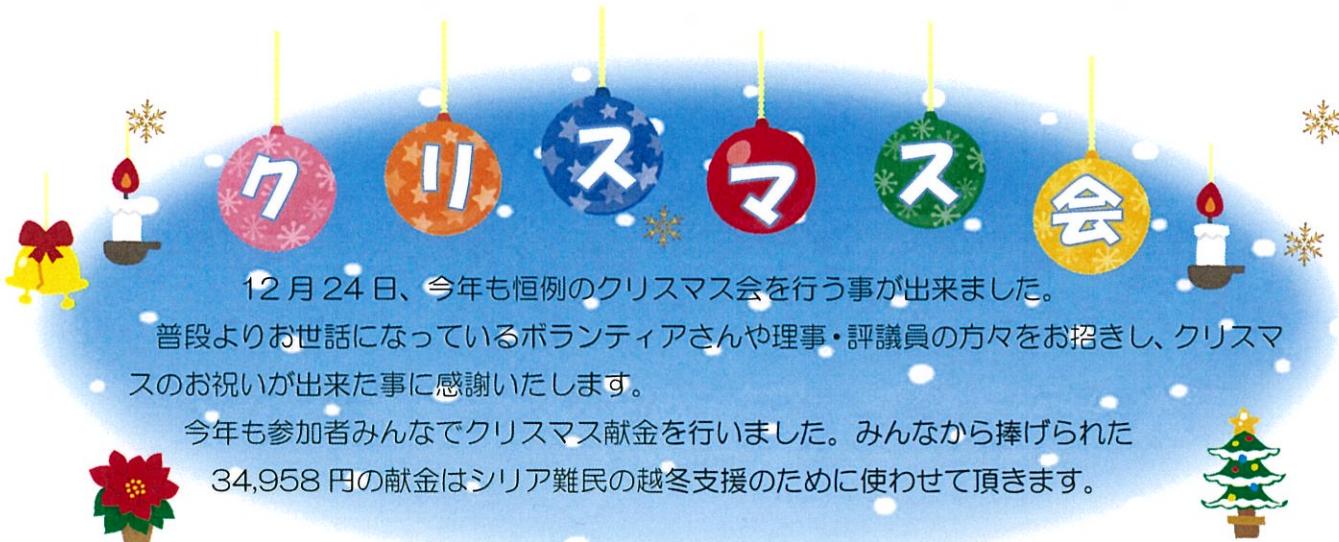
一方、問題は問題として子どもたちの自立のために改善してゆくことが施設と職員の役目であることも忘れてはなりません。そのために問題の外在化はとても有効な方法と言えます。

実は、問題を外在化することは、聖書のメッセージと共通するところがあります。

聖書は、神が人をご自分のイメージに似せて創造された良いものであると教えます。そしてどんな人も「高価で尊い」と神ご自身が宣言しています。有名人や権力者、お金持でなくとも、いや罪を犯したとしても、私たち一人ひとりは「高価で尊い」ものなのです。このメッセージを、特に傷つき自分は価値のないものと思い込んでしまっている子どもたちに知って欲しいのです。また聖書は、人の問題の根源を「罪」と言っています。どんな人でも「罪」を持っています。しかしそれは、外在化によってその人の価値と切り離して考えるべきです。イエス・キリストは、この罪の解決のためにこの世に来られました。かれの生涯は、「罪を憎んで人を憎まず」という愛の実践でした。人は自分自身の力で罪を消し問題行動を無くすることはできません。それは子どもたちが、自分自身で問題行動を解決できないことと同じです。人が問題を神のひとり子、イエス・キリストに委ねるときに、神は必ずその人に助けを与えると教えるのが聖書の「救い」のメッセージです。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイによる福音書 11章28節)

新年にあたり、子どもたちと職員、そして関係者の皆様の幸せを心より祈るものですが、1年間何もなく毎日が幸せな時だけではないということを私たちは知っています。ですから、辛いとき苦しいときにイエス・キリストに問題に委ね、神が皆様を助けてくださることを合わせてお祈りいたします。

God bless you for the year 2019!



12月24日、今年も恒例のクリスマス会を行う事が出来ました。

普段よりお世話になっているボランティアさんや理事・評議員の方々をお招きし、クリスマスのお祝いが出来た事に感謝いたします。

今年も参加者みんなでクリスマス献金を行いました。みんなから捧げられた
34,958円の献金はシリア難民の越冬支援のために使わせて頂きます。



島村めぐみ教会・清水牧師のお話



新任職員による出し物



職員音楽隊♪



幼児さんのダンス♪



ピアノボランティアでピアノを習っている子たちがピアノの伴奏をしました。



かしのき

面白い事をしようとしている訳ではないけれど突っ込みにはいられない。ボケ担当が多すぎて、突っ込む職員大忙し。かしの木には芸人の卵がたくさんいるんです！そんな愉快な仲間たちとクスっと笑える楽しいお部屋を作つたらなと思います。笑う門には福来たる！たくさん笑ってみんなで幸福ゲットだぜ！！



いちょう



走るのが得意！絵を描くことが得意！ダンスが得意！お手伝いが得意！みんなを笑わせるのが得意！料理が得意！片付けが得意！みんな違うけど、それぞれ輝ける場所がある！2019年も自分らしく輝こう！いちょうのみんなの笑顔がキラキラ輝く1年でありますように☆

オリーブ



緊急一時保護ユニット「オリーブ」は開設から2年目に入り、50名近い子どもたちを受け入れてきました。子どもたちの言葉、そして表情や行動から声なき声を聞き続けた1年でした。

「聰」と言う字は、「耳」に「十四」の「心」と書きますが、「十分」以上、「十四分」に心を尽くし、2019年も子どもたちの想いに耳を傾けたいと思います。



「ひらがなを読めるようになった」「相手のことを考えて行動出来た」「部活動を頑張ることが出来た」など4月に比べるとゆっくりと自分のペースでたくさんのことを覚え出来るようになりました。急いでではなく自分のペースで歩んでいってほしいので「歩」の字を新年の抱負に選びました。



ひのき

漢字一文字で 新年の抱負 2019



ねむのき

ねむの木の子ども達に今年の抱負を聞いたところ、「勉強を頑張りたい。」「将来に向けて考えたい。」等、それぞれ立派な目標を教えてくれました。子どもの成長したいという気持ちに真剣に向き合い、子どもと共に職員も成長していきたいと感じた為、成長の「成」の一文字にしました。



ポプラにはエネルギーの子が多いので、何事にも気合いを入れ、強い気持ちで挑戦していくようになりたい事と一人一人相手の気持ち、自分の気持ちを大切に出来たらいいと思い「気」という漢字にしました！

さんあいの

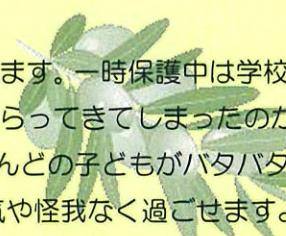
増築工事

さんあいでは現在事務所棟の増築工事が行われており関係者にご不便をおかけしております。今回の工事は、心理室のスペース確保、子どもたちの学習スペース及び会議・面談スペース確保、そして増員した職員の業務スペース確保とトイレの増設を目的とするものです。工事は今年度末には完了を予定しており、新年度からよりよい環境での生活と業務がなされることを期待しています。社会的養護の必要な子どもたちと、その受け皿となっている児童養護施設を取り巻く環境は劇的に変化しています。その変化に対応してゆくためにも、よりよい養育環境と職場環境を常に求めてゆく必要を感じています。また法人の器を社会的資源として地域福祉のために十分に活用することも問われており、今回の増築により地域の方々のためにより開けた施設となれるよう期待しています。



《緊急一時保護ユニット オリーブ》

オリーブでは入退所は多いものの、定員は常にいっぱいの状況が続いています。一時保護中は学校に行けないことが多いのですが、登校している子どもが学校でインフルエンザをもらってきてしまったのか、インフルエンザを発症てしまいました。隔離したものの、あっという間にほとんどの子どもがバタバタと高熱で倒れ、クリスマス会もお部屋でひっそりお祝いしました。年末年始は病気や怪我なく過ごせますように。



《子育てサロン 夏みかん》

里親子さん、未委託里親さんと一緒にさんあいの子供たちが風呂のみかん園（やまき園）でみかん狩りやホットケーキ作り、木工を楽しみました。子供たちの面白い発想を木を使って表現し、大人も楽しみながら一緒に作りました。初めて親子で参加した里親さんは「皆さん、『できない・無理』と言わないんですね」と、驚いていましたが、里子さんにせがまれると「よし！ やろう」と気持ちの入った声を出してから釘打ちと一緒に挑戦していました。素敵な作品と、素敵な思い出が出来ました。



取組み

合同セミナー

昨年11月、里親さんとの合同セミナーを開催しました。

今回は性教育講座として、障がい等の特徴をもつ子どもの養育者として知っておきたい「性教育」をテーマとして、講師には、東京都の特別支援学校高等部で性教育を取り組んでこられた、日暮かをる先生、任海園子先生をお招きしました。

体験談を通しての講義は、とても分かりやすく、身近な子どもたちを想像しながら学ぶことができました。出産のDVDは、リアルな映像に皆、息をのみながらも生命の尊さをかみしめました。参加した多くのスタッフから障がい等の特徴をもつ児童への性教育の勉強会は貴重な機会であったとコメントが寄せられました。



療育タスク

今年度よりさんあいでは療育タスクチームが新たに出来ました。発達に課題を抱える子どもが増え、日常生活の些細なことで躊躇してしまう子どもも少なくありません。子どもがよりよい生活を送ることが出来るように施設の中で出来ることを考え取り組んでいます。現在は、ことばや運動機能の発達を促すプログラムを実施しています。

なかでも、口を使う遊びや、身体を使った遊びの時間は子ども達も楽しんで積極的に取り組んでくれています。



トランポリンを使ったプログラム



マットを使ったプログラム

見沼たんぽ

ありがとう米クッキング

今年も見沼の美味しいお米が届きました。12／1(土)の昼食は小中学生16名と職員、ボランティアさんで「クリームシチュー」「中辛チキンカレー」「牛丼たっぷりハヤシライス」「ハンバーグカレー」の4つの料理を作り、ありがとう米と一緒に美味しく頂きました。子ども達も自分が作ったものを美味しいと食べてもう喜びを感じ大満足。NPO法人見沼ファーム21の方々に感謝いたします。(青木義)



リクエストボックス

献立に入れてほしいメニューを書いて入れられる、リクエストボックスを置いたことにより、子どもたちの希望がリアルタイムで入るようになりました。リクエストしてくれた子どもにはアンサーメールを返し、次の週には献立に出せるように心がけています。リクエストして笑顔。アンサーメールで笑顔。希望通り笑顔。おいしく食べて笑顔。食事で笑顔の輪を広めていきます。(坂田)

いちょうの広場



よしもと流コミュニケーション講座

11／17(土)オオカミ少年、かがくと森田くん、清水バージョンさんの吉本芸人4名がさんあいに来てくださいました。さすがプロ!すぐに子どもの心をつかみ「笑い」を通して人と触れ合う喜びを伝えてくれました。「お笑いライブ見に行きたい!」と言う子がいるほどみんなの心に残る時間となりました。主催して下さったコンパスナビ様に感謝です。(青木義)



いつも暖かいご支援ありがとうございます。

*ご寄付は右記の口座にお願い致します。*連絡先を入れて下さい。埼玉りそな岡部支店 普 0058888

編集後記

昨年は、全国各地で自然災害にみまわれ、自然の怖さを改めて思い知る年になりました。さんあいでも月に1回の避難訓練は欠かしません。消火訓練や夜間に避難する事を想定した夜間避難訓練など、その他にも様々な災害などを想定してそれに対応出来るよう準備をしています。“備えあれば憂いなし”の気持ちで、今年も職員一同子ども達の安心安全を守っていきたいと思います。(広報タスクー同)

さんあいの畑

さんあいの畑では今年も冬大根を育てました。肥料が少なかったようで昨年よりは一回り小さかったのですが、それでも太くてしっかりとした大根が収穫できました。煮物や大根おろしでいただきました。スティック状にしてマヨネーズで食べたらサクサクして瑞々しかったです。青々とした葉をみそ汁に入れて食べるのもとっても美味しいです。(野田)

アロマセラピー

日頃、子ども達の養育に奮闘している職員の心を癒し、少しでも身体の疲れを取ってもらおうと、セラピストの丸目さんのご厚意によって今年度から始まったアロマセラピー。1日4人程、1人30分を目安に癒していただきます。鼻から入る素敵なアロマの香りと、マッサージで日頃の疲れもあっという間に解消です。遠方よりボランティアでお越し下さる丸目さんに感謝です。さあ、お仕事頑張るぞ。(村尾)

ファミリーホーム「茜の里」



「茜の里」の秋は、裏山に生えるきのこや、円良田湖の紅葉、秋野菜や果物等、身も心も癒される季節でした。しかし今回は、イノシシの出没で敷地内を荒らされ秋の味覚の楽しみは奪われてしまいました。そんな中、地域の方から、じねんじょや、里芋、蜜がたっぷりの甘いリンゴ等頂き、いつもながら子ども達への心遣いに感謝しています。お陰様でここで暮らす子ども達は地域に育まれ心豊かに大きく成長しています。(茜の里 野口)